

# 礫 陵 新 聞

発行所 新 聞 部  
若 松 高 校 新 区 小 石  
北 九 州 市 若 松 区 新 所  
若 松 高 校 校 舎 新 所  
若 松 高 校 校 舎 新 所  
高 塔 印 刷 所 (65) 2987

5月28日	行事予定
5月31日	生徒校医検診
6月4日	月末大掃除
6月5日	実力テスト
6月27日	期末考査
7月2日	

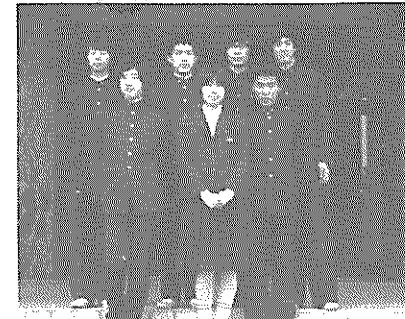
## 生徒と密着した 生徒会を

去る四月三十日、体育館二階で行われた立会演説の後の投票により翌日、新執行部役員が発表された。

(会長) 藤井由房  
(副会長) 松下精一  
(副会長) 立石俊介  
(書記) 広岡季司  
(書記) 堀田悦子  
(会計) 福沢栄一  
(会計) 古川秀明

以上の通りである。次に元役員の人達の反省を述べていただきました。

(会長) 野口靖史  
今度の役員改選で新執行部が決まり、私の任期は終了しました。今の私の気持ちを正直にいえば「やっと終わった」一言につきまします。生徒のみならず、新執行部には、できる限りの協力をお願いします。



(会計) 藤川和子  
今までのことをいろいろ振り返ってみると、あまりにも会長に頼り過ぎていたようです。新執行部には、

と、もう少し自分自身に責任をもつ行動をとれなかったものかと残念に思っています。

今回も又、推薦という形になったわけですが、これは生徒会に対する生徒の無関心、非協力の表れだと思えます。とにかく生徒会がより活発になるよう、新執行部の皆さん、頑張ってください。

(書記) 岸田憲明  
執行部に対して思ったことは消極的、受身的であったことだ。生徒会の代表であるはずの執行部がこんなことで生徒に何を望めようか。推薦選挙であったから意欲を持った立候補者とは異なるのも当然であろう。次期執行部も同じ方法を

### 協力性に欠けた 生徒大会

四月三十一日、各クラブ予算案の承認を得るため、また、新執行部役員候補者の立会演説のための生徒大会が行なわれた。

今年は、今まで新聞発行に使われていた五〇万円が体育部、文化部の遠征費に回された。しかし、どのクラブも予算案で思っているように予算が取れなかった。

四月三十一日、各クラブの予算案の承認を得るため、また、新執行部役員候補者の立会演説のための生徒大会が行なわれた。

今年は、今まで新聞発行に使われていた五〇万円が体育部、文化部の遠征費に回された。しかし、どのクラブも予算案で思っているように予算が取れなかった。

とるようだが、この点について良く考えてくれることを望む。そして後の人たちの選出方法は従来のような自主的なものになるよう力を入れて欲しい。

以上である。それ以外に、ここには書かれていないが(書記)藤川和子さんの意見で、「副会長の顔を一度もみることがない。選ばれた以上は責任をもつてやっつけてほしい」というのがあった。元副会長の人たちは、その点について充分考え、反省してもらいたい。

文化部	男	女	金額	体育部	男	女	金額
文芸	2	6	35,000	陸上	0	0	105,900
英会話	5	0	25,320	庭球	6	15	170,000
化学	2	4	42,570	バスケット	7	12	200,000
放送	0	2	29,350	バレー	6	7	198,500
人形劇	0	9	92,240	卓球	6	2	82,400
地理	6	9	76,200	弓道	8	2	59,800
映画	0	6	22,000	柔道	4	0	47,500
演劇	0	0	63,000	サッカー	6	0	112,600
書道	0	1	27,270	山岳	4	3	69,500
歴史	6	6	79,100	水泳	2	0	35,000
写真	3	0	30,000	ハンドボール	8	0	194,000
茶会	0	6	28,900	剣道	7	2	188,545
曲	0	1	31,150	野球	13	0	310,000
物理	4	0	40,610	ラグビー	12	0	180,650
吹奏楽	6	4	67,000	体操	7	11	98,550
美術	1	1	48,325	計			2,052,945
生物	2	4	27,000				
音楽	4	5	23,000				
新聞	5	6	31,300				
計			820,685				

### 主張

礼儀、これは人間関係の上で最も大切なことである。また、礼儀のあるか否かで、人格評価にまでも影響するものである。そこで、礼儀の中で近頃気になっている事を上げてみる。

その前に「礼儀」ということについて、辞書に載っている説明を上げてみた。「敬意を表わす作法」こんな風に、簡単な言葉で的確に言い表わされているが、いざ態度に出してみなさいと指定されてもなかなか出来ぬ事であろう。

まず第一に、みなさんの身近な出来事をピックアップしてみた。対面式での校長先生の言葉に、顔を合わせた時はきちんとあいさつや敬意をするように言われた事を思い出す。確かに現在の若高生は、廊下で先生方に会ってもあいさつをしない人がいるようである。規則であるから、まわりであるからよとおじぎをすることはなく、敬意を示す一態度で接してほしい。今のままでは人間として、同じ教室で過ごしている者同志として淋しい事ではなからうか。

二つめとして、朝家庭内での対話、そして

## 心のふれあいを

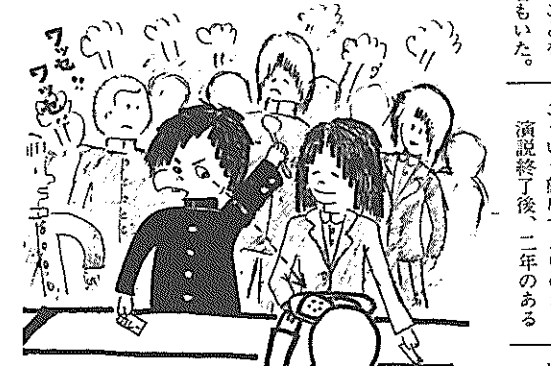
話がはずんでいくが、その中にはお互いにズサンとする言葉がたびたびあるのだ。自分相手としては「ユーモア・冗談のつもりでも、相手にとっては、ときにもなげかんとくるものである。」「親しき中にも礼儀あり」ということわざがあるが、まさにこれにぴったりである。何の気なしにしゃべっていてもよかつた事からトラブルが起りかねない。親しければ親しいほど相手に対する態度が心の配

慮が怠らなくなるのであろうか。心を広げて自分をおかまいなしにぶつけていく事は遠何だ。親しいからと言って、友と友の間に、人格のある者同志としての自覚を持ち、接していくべきではないだろうか。あいさつにしても、対話の中の一一言にしよう。我々がなげればならない点があるだろう。日本人の名譽の重んじも、今は形の薄れたものとなつていっている。いや、昔の人間の礼儀という物が失われていっている。と言つても過言ではないだろう。人と人との結びつき、心のふれあいを、気持の確かな通じ合い、等々の事が非常に重要な事になつて来た。それらは、いつの日か分からない。知らぬ間にいついともなげかんとくる。我々一人一人の心を豊かにし広げたり持つ事、また個人、自分本位な考えを捨てる事ではないだろうか。「礼儀」はある程度常識といつたものに含まれるが、これが本物になるのは、この小さな事から生まれるものであろう。

生徒会は、全ての役員がもちろん生徒にも関係があるが、それぞれの仕事、責任をもつて行ない、協力し合つてこそ成り立つものである。

協力性こそ今の生徒会になくしてはならないものである。選ばれた以上は責任をもつてやっつけてほしい。新しい気持ちで頑張ってください。

## 若高戯評



生徒:おはたん  
僕:おはたん  
おはたん:愛嬌...愛嬌...果だろ??  
(心の中で)

### 若高戯評

ひき続き、五年度前期生徒会執行部役員候補者の立会演説が行なわれた。

一、二年の各クラスの代表者一名を選出し、会長一名、副会長二名、書記二名、会計一名を選ばれたが、去年のように改選が遅れるということがなかった。

候補者並びに推薦者が壇に出て、推薦者がまず候補者の人柄を述べ、候補者が、自分の執行部でのやるべきことを述べた。その中に、第一印象を強く受け入れたものも多かった。面白くないものも多かった。生徒会の運営を中心として行なう者を選ばれたが、こういう態度でよいのか。演説終了後、二年のある

生徒の「若高はあらゆる面で最低だ」ということばに、対し討議された。質問に対して、「今の若高生は、自覚がなく、充実した生活を送っていないように思える。それに対して、最低だ」といふことばを使つてしまつたが、暴言だつたのであやまります。しかし、自分は、皆さんに何に対しても、意欲をもって、自覚してほしいと思つています。」というように答へた。このことばの中に、今、青春時代を進んでいる高校生である我々につめ直し、考え直すべきことがあるように思える。

当選した人たちは、中心となつて生徒会を盛り上げてほしい。また、生徒の皆さんも、あらゆる面で協力し合いたいと思う。



発せられた言葉なり現象するものが、それらを感じ取る対象に到達する前に、あえなく失墜してしまふ。或は、対象によつて感覚された場合でさえ、それらの持つ意味がすでにその貌を変えていっている。鉛のごときアパシーがいま私たちの身の奥深くに在る。私たちの感じるこのアンニュイは春の陽気のせいばかりではない。

▼カンボジアにおけるロン・ノル政権の崩壊とそれに次ぐ南ヴェトナムにおけるサイゴン政府の崩壊——これらは日本をも含めて東アジアが激動する歴史の只中にあることを示している。だが、この世界史に重大な局面に際して私たちの「歴史感覚」は、あたかも麻酔をかけられた四肢の筋肉の如くに鈍重である。私たちの社会にいま時空を超えた共同存在としての「歴史感覚」を探しあてることが極めて困難なことに思われる。これは、私たちの「存在」の総体が丸抱えにされたまま虚構化された「歴史」を生きていくことに他ならない。

▼いったいに、「歴史」を生きていく「歴史感覚」を共有するとは個の「存在」とそれを支える社会状況との間、きわどくあやうい綱渡りを指示している。すなわち、此岸側から彼岸へへの架橋こそが、人をして「歴史的存在」たらしめるのである。▼日常生活圏のなかで私たちはどれほど「歴史」的であるか。この問いかけが今日ほど私たちの課題として在ったこととはない。その問いかけは、私たちの学校空間においては、何故に私たちは学ぶのか、或は学ぶことにおいて何を表現していくのか、ということになる。私たちは今、深く歴史に根ざすために強固な忍耐力と雄気ある思想を放している。(無名鬼)

### 礫 陵 言

なり現象するものが、それらを感じ取る対象に到達する前に、あえなく失墜してしまふ。或は、対象によつて感覚された場合でさえ、それらの持つ意味がすでにその貌を変えていっている。鉛のごときアパシーがいま私たちの身の奥深くに在る。私たちの感じるこのアンニュイは春の陽気のせいばかりではない。

▼カンボジアにおけるロン・ノル政権の崩壊とそれに次ぐ南ヴェトナムにおけるサイゴン政府の崩壊——これらは日本をも含めて東アジアが激動する歴史の只中にあることを示している。だが、この世界史に重大な局面に際して私たちの「歴史感覚」は、あたかも麻酔をかけられた四肢の筋肉の如くに鈍重である。私たちの社会にいま時空を超えた共同存在としての「歴史感覚」を探しあてることが極めて困難なことに思われる。これは、私たちの「存在」の総体が丸抱えにされたまま虚構化された「歴史」を生きていくことに他ならない。

▼いったいに、「歴史」を生きていく「歴史感覚」を共有するとは個の「存在」とそれを支える社会状況との間、きわどくあやうい綱渡りを指示している。すなわち、此岸側から彼岸へへの架橋こそが、人をして「歴史的存在」たらしめるのである。▼日常生活圏のなかで私たちはどれほど「歴史」的であるか。この問いかけが今日ほど私たちの課題として在ったこととはない。その問いかけは、私たちの学校空間においては、何故に私たちは学ぶのか、或は学ぶことにおいて何を表現していくのか、ということになる。私たちは今、深く歴史に根ざすために強固な忍耐力と雄気ある思想を放している。(無名鬼)

# 一年生インクビュ

## 上級生はおいさんばっかり

入学式から約一ヶ月、学校生活にも慣れようやく落ちついた様子の新一年生の皆さんに今回は若高に入学しての感想をきいてみることにしました。

・乱れている  
・カッコイイ男の人が少ない(いや全くない)  
・上級生のおいさんばっかり

・少し  
・大それた  
・便所場にだけ慣れた  
・中学校と高校との違いはどんなところですか

・ボマードの臭いが強い  
・困る  
・若い先生、女の先生が少ない  
・ありや戦争が

・座が少ない  
・生存競争が激しい  
・死傷者が多い  
・ありや戦争が

・明治31年に創立され、生徒数は千二百五十名。昔、女子校であったため、どの学年も女子の比率の方が上まわっている。そのため男子が少しおとなしいそう

・欲の向上・勤労意欲の向上のもとに、全体的におとなしくまじめで、盗難がほとんどないというところは、我が校にとってもうらやましい限りである。

・冬には寒くないが、男子はマラソン、柔道、女子はマラソンだけというところである。また補習も希望者だけというところで行なわれている。

・二時間ばかりいる話を聞いて、校内を案内してもらった。わりと古い木造の二階建てであるが、そうじがいきといてあった。食堂も我が校のすぐらいの大きさが、テーブル全部に花がさがらされてあったのにはびっくりした。花壇には、色とりどりのチューリップが咲いており、我々の目を楽ませてくれた。教室には「一番学級」と名がついており、階段が古風な感じの造りで、何となく落ちついた雰囲気であった。図書館は蔵書は多いそうである。

・楽しい話らしいので、我々は応援歌指導の声を後にして若松への帰路についていた。



・校舎から落ちたらどうなるかな  
・バカが多い  
・学校にはもう慣れましたか

・三年(中学)から一年に上がった  
・県立と市立の違い  
・二階建てと四階建ての違い  
・男子の制服のボタンが

・あほみたい  
・OPENにやろう  
・相手がないので  
・きちがいが多い  
・バイク通学についてはどうですか

・女子のカール、バレーは禁止。時々着帽の抜きや検査があるなど、我が校に比べ、比較的きびしいが男女交際については、自由であるそう。教育目標の自主的態度の確立・学習意欲の向上

・女子をふやそう  
・以上がインクビュの結果です。新一年生の皆さん若高に入ってからまだ間もないけれど高校生活三年間の

・さて皆さん、今回は五十年度最初の発行にあたり出血大サーブス。ほんの息ぬきにクイズでも……

・雪の降る日に、雪をあげて知らせる人は、いったい誰でしょう  
・部屋の中に、男が一人と女がひとりいました。朝になってみると女の人が死んでいました。どうして死んだでしょう

・これからの三年間を精一杯、有意義なものとして過ごして下さい  
・高このインクビュに協力して下さいました。一年生の皆さんありがとうございます。

# 学生らしい交際とは

人口約一億一千万人ものあふれそうなるを積み、なおかつ活動を続けている日本。その中で私たちは色々な人と出会い、また色々な生活をしていく。さまざまな所々で、色々なものを、情報社会とよばれる現代の波に、うまくのり、リズムをあわせて生活をしていく。私たちは、地球という星に動物が生まれ育ち、その動物の一種類である「われら人間」男性と女性がいって人間社会を築き、子孫を残し、文明を進ませ

る。つまり、私たちは大きな舞台をふんで暮らす俳優である。これらの社会の中で、一つの現象として見られる男女交際についてのべてみよう。

私たちが町に出ても、公園へ行っても男女のカップルは、いつでも私たちの視界にはいつくくる。私たち学生の中でも、男女交際というものは珍しくはないだろう。「男女交際」と一言に言っても、中味は幅ひろく、限らないものであり

この大人たちが、学生の交際、どれ程真剣なまなざしで見ているのか。この大人たちは、「学生らしい」という一つの言葉を、どうにか、も、学生らしいという言葉、ある一定の範囲の身近な交際について疑問に思う事が一つある。

「学生らしい交際」とは、何をいふのだろうか。よく大人や、色々な人に批判されている言葉だが、果してどこまでが学生らしいのだから。「らしい」というあやふやな言葉を使って、私たちを困らせる大人たち……

結びつけてはいけません。私たちが若者には自由権があるかわりに責任という大きな役割があるのだから……

・女子をふやそう  
・以上がインクビュの結果です。新一年生の皆さん若高に入ってからまだ間もないけれど高校生活三年間の

・さて皆さん、今回は五十年度最初の発行にあたり出血大サーブス。ほんの息ぬきにクイズでも……

・雪の降る日に、雪をあげて知らせる人は、いったい誰でしょう  
・部屋の中に、男が一人と女がひとりいました。朝になってみると女の人が死んでいました。どうして死んだでしょう

・これからの三年間を精一杯、有意義なものとして過ごして下さい  
・高このインクビュに協力して下さいました。一年生の皆さんありがとうございます。

あなたに愛されるメガネを作ります  
高遠クーポン大歓迎  
区内全眼科指定・コンタクトレンズ代理店  
**アイチ眼鏡店**  
〒908 若松区本町三丁目8 24 TEL(761)3312

天下一品  
**珍軒**  
一本町銀座一(761)5595

D.P.E カラープリント撮影  
**ダイワ写真工芸**  
若松区上原町(若松高校前)  
TEL (76) 3173





# 荒れほうだいの部屋

前々から問題になっている盗難ではあるが最近警察問題になるほどのあり様。特に運動部の部屋はひどい荒れようで、損害も高額に及ぶ。そこで我々新聞部は、盗難と部屋の改善を兼ねて各クラブの部屋調査を行なった。結果は次の通りである。

- 最近、運動部や文化部の部屋において頻りに起こっている盗難事件について、我々新聞部は、プール下の部屋、及び多額に渡る盗難の被害にあった、女子バレー部、女子テニス部の部屋の実態調査、盗難調査を行ってみた。その中で特に目立った事は、プール下の部屋に照明器具がなくて困っていることだった。以下は調査の結果である。
- 一山岳部
- ①電気の代用は何も使用していません。
  - ②何も使っていない。早く帰るようにしている。
  - ③電気がないことに不満はありません。
  - ④整備をする時に暗くならないと困る。
  - ⑤ドア、ガラス、カベ等、破損している所があれば、破損しない所があれば、破損しない。
  - ⑥最近一年間で盗難にあつたものがあれば具体的に、〇体操服
  - ⑦部屋に対する全般的な不満、意見、要望。
- 〇ガラスが割れた後をベニヤ板で修理しているので、暗い。
- 一英会話部
- ①何も使用していない。
  - ②雨の日等暗くて困る。
  - ③ガラスが全部割れていてベニヤ板でふさいでいる。
  - ④テープレコーダー、辞書
  - ⑤電気が使用できない事
- 一新聞部
- ①何も使っていない。
  - ②記事を書く時に困る。
  - ③窓ガラスが割れている。
  - ④マジック、ボール各種
  - ⑤目が悪くなるので是非電気を付けてほしい。
- 一入形劇部
- ①何も使用していない。
  - ②冬は五時以後使えない。
  - ③窓ガラスが割れて、天井からプールの水がもる。
  - ④なし。
  - ⑤狭い。夏は暑くて困る。
- 一演劇部
- ①何も使用していない。
  - ②地区大会が近づくので、練習が遅くありません。
  - ③窓にカギがかからない。
  - ④鏡、テープレコーダー他

## ラグビー部

今回は前回のクローズアップその2に引き続きラグビー部にスポットをあてることにした。このシリーズでは女子陸上部、女子バレー部といずれも女子クラブで、男子クラブは、はじめとあって少々緊張感みでインタビューにかかった。

一ラグビー部に入った動機は何ですか

一好奇心から

一最初はわりやりましたけど今はたのしい。

一現在の部員数は何人ですか

一年生十二人、二年生五人、三年生十人、マネージャーが二人です。

一最近の主な大会は何ですか

一新人戦です。(結果は五位だそう)

一五月十日に九州大会があります。

一毎日どのような練習をしていますか

一基礎体操からダッシュ、ランニングパス、スタートダッシュ、スクラム、タックル、セイビング、個人技術などを主にやっていますが

いつも、走ることに気をくばって練習しています。

一練習は何時ぐらいまでやっていますか

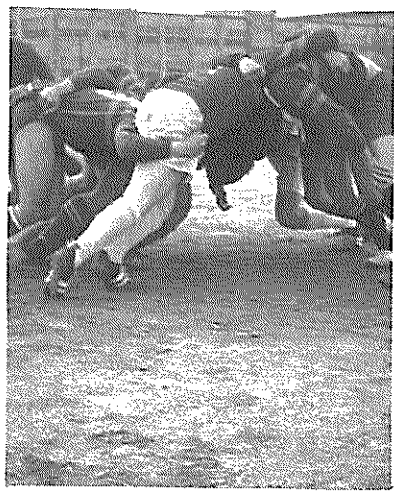
一だいたい七時までですが真暗になるまでやっています。

一勉強と練習は両立できますか

一なかなかできません。睡眠はいつも授業中です。

一今までに悲しかったことは何ですか

一試合の時、他校は応援が多いのに、いつも若高は少ないことです。



一では、うれしかったことは

一やっぱ試合に勝ったときです。

一ラグビーを通じて得たものは何ですか

一人間形成です。

一精神的には忍耐が身についたこと。

一今後の目標はどういうことですか

一まず、県大会に出場して

- 一映画部
- ①何も使っていない。
  - ②冬は仕事が進まず困る。
  - ③窓ガラス、カギ、壁穴
  - ④なし
  - ⑤部員以外の立入りがある。
- 一文芸部
- ①ロソク
  - ②ある
  - ③窓ガラスがない
  - ④ない
  - ⑤せまい。ガラスがほしい。
- 一サッカー部
- ①何も使用していない。
  - ②ない
  - ③ない
  - ④柔剣道具、シューズ他
  - ⑤新しいロッカーがほしい
- 一バスケット部(男子)
- ①ろうそく
  - ②遅くなるので着替えに困る。
  - ③ガラスに穴、カギがない
  - ④四月二十九日時計と八千円
  - ⑤電気がカギがない
- 一バレー部
- ①体育館のこもれば
  - ②ある
  - ③窓ガラスが割れている
  - ④ジャージ二枚、靴二足
  - ⑤狭い。天井が低い
- 一ハンドボール部
- ①ロソク
  - ②物をさがす時困る。
  - ③窓ガラスにひびがある
  - ④柔剣道具、現金三千円他
  - ⑤せまい。電気がほしい

## 新任紹介

今年度は十三人の先生方が各校へ赴任された。

さつきインクビュウを

一、担当科目 二、出身校 三、趣味 四、若高生について 五、抱負

〇松崎(校長)先生 二、筑波大学



一水泳部

- ①何も使っていない
- ②ある
- ③ロッカーの戸
- ④なし
- ⑤なし

一バレー部女子

四月二日、天井の穴から侵入し、ジャージの上下計九枚が盗難にあった。

一テニス部女子

四月二七日天井を破つて侵入、現金計七千円の被害。以上である。

これによって現在の荒れた部屋の状態がよくわかると思う。電気が、カギ、ガラス等、最低限度必要な物は、早急に付けてもらいたいものである。

一、食べる事 坐禅

四、みんなが協力して若高をあげてほしい。

五、若高がっつりになるようにがんばりたい。

〇上野先生

一、物理 二、福岡学芸大学

三、写真、機械電気スポーツ

四、写実、機械電気スポーツ

五、生徒に負けぬように頑張りたい。

〇島津先生

一、英語

二、長崎大学経済学部

三、読書、旅行

四、大変元気がつらつとしていて好感もてる。

五、生徒諸君に負けぬように頑張りたい。

〇河野先生

一、物理

二、明治専門学校

三、草花作り、読書

四、おとなしく、素直な感じがある。

五、不慣れな若高の発展のため頑張りたい。

〇安武先生

一、化学 二、明治工専

三、読書、園芸

四、伝統ある学校です。その力を発揮してほしい。

五、生徒諸君の能力が発揮できるようにしたい。

〇上島先生

一、国語 二、国学院大学

三、旅、絵を描くこと、土いじり

四、りっぱな図書館、夜間照明のある運動場など良い環境の中、勉強できること、をうらやましく思う。

五、早く本校に慣れ、生徒の皆さんと一緒に喜び悩み考えていきたいと思う。

〇進先生

一、古文・文法・漢文

二、京都高校

三、レコード鑑賞(映画音楽)、書道

四、自由で東洋風というものがなく、先生との間にも隔たりというものが感じられない。

五、早く若高の雰囲気に慣れて、授業を離れて生徒と接したい。

〇重住先生

一、国語

二、早稲田大学

三、園芸・生花

四、外に出る意欲が欲しい。上品でなくよい意味での野性味を望む。

五、教育の厳と寛を実践してゆきたい。

〇入江先生

一、物理 二、若高

三、釣り・麻雀

四、三年前迄は、私自身生徒としてこの新聞の一読者であったわけで、どうも客観的になれない気がする。

五、私は物理の実験助手であると同時に、学生でもあるので、相談事などあれば、物理教室を遠慮なく訪ねてほしいと思う。

〇田島先生

一、日本史

二、法政大学文学部史学科

三、旅行・フェンシング

四、全体的に勉強に対する興味が高いように思う。各自が将来の進路を早く見つけてそれに向って努力することが一番大切。

五、私は諸君を信頼して行くので、諸君も私を信頼してほしい。

〇副田先生

一、英語

二、早稲田大学英文科

三、散歩

四、全体的に勉強に対する興味が高いように思う。各自が将来の進路を早く見つけてそれに向って努力することが一番大切。

五、私は諸君を信頼して行くので、諸君も私を信頼してほしい。

〇堀之内(事務)

一、北九州大学短期大学部

二、園芸

三、園芸・生花・読書

四、活気に満ちあふれた言行には好感もてる。

五、特になし。

〇庄(図書)

一、福岡女子師範学校

二、園芸・生花・読書

四、活気に満ちあふれた言行には好感もてる。

五、図書館の機能を果たすために努力したいと思う。

## 編集後記

桜の花も散り、やわらかな春の日差しが一段と感じられる頃となりました。新学期が始まりました。もう一ヶ月の月日が流れました。

今、あなたが手にしている礪陵新聞第百三十七号は、若高に入学生として読む新聞でしようね。その第一印象は、

一、食べる事 坐禅

四、みんなが協力して若高をあげてほしい。

五、若高がっつりになるようにがんばりたい。

〇上野先生

一、物理 二、福岡学芸大学

三、写真、機械電気スポーツ

四、写実、機械電気スポーツ

五、生徒に負けぬように頑張りたい。

〇島津先生

一、英語

二、長崎大学経済学部

三、読書、旅行

四、大変元気がつらつとしていて好感もてる。

五、生徒諸君に負けぬように頑張りたい。

〇河野先生

一、物理

二、明治専門学校

三、草花作り、読書

四、おとなしく、素直な感じがある。

五、不慣れな若高の発展のため頑張りたい。

〇安武先生

一、化学 二、明治工専

三、読書、園芸

四、伝統ある学校です。その力を発揮してほしい。

五、生徒諸君の能力が発揮できるようにしたい。

〇上島先生

一、国語 二、国学院大学

三、旅、絵を描くこと、土いじり

四、りっぱな図書館、夜間照明のある運動場など良い環境の中、勉強できること、をうらやましく思う。

五、早く本校に慣れ、生徒の皆さんと一緒に喜び悩み考えていきたいと思う。

〇進先生

一、古文・文法・漢文

二、京都高校

三、レコード鑑賞(映画音楽)、書道

四、自由で東洋風というものがなく、先生との間にも隔たりというものが感じられない。

五、早く若高の雰囲気に慣れて、授業を離れて生徒と接したい。

〇重住先生

一、国語

二、早稲田大学

三、園芸・生花

四、外に出る意欲が欲しい。上品でなくよい意味での野性味を望む。

五、教育の厳と寛を実践してゆきたい。

〇入江先生

一、物理 二、若高

三、釣り・麻雀

四、三年前迄は、私自身生徒としてこの新聞の一読者であったわけで、どうも客観的になれない気がする。

五、私は物理の実験助手であると同時に、学生でもあるので、相談事などあれば、物理教室を遠慮なく訪ねてほしいと思う。

〇田島先生

一、日本史

二、法政大学文学部史学科

三、旅行・フェンシング

四、全体的に勉強に対する興味が高いように思う。各自が将来の進路を早く見つけてそれに向って努力することが一番大切。

五、私は諸君を信頼して行くので、諸君も私を信頼してほしい。

〇副田先生

一、英語

二、早稲田大学英文科

三、散歩

四、全体的に勉強に対する興味が高いように思う。各自が将来の進路を早く見つけてそれに向って努力することが一番大切。

五、私は諸君を信頼して行くので、諸君も私を信頼してほしい。

〇堀之内(事務)

一、北九州大学短期大学部

二、園芸

三、園芸・生花・読書

四、活気に満ちあふれた言行には好感もてる。

五、特になし。

〇庄(図書)

一、福岡女子師範学校

二、園芸・生花・読書

四、活気に満ちあふれた言行には好感もてる。

五、図書館の機能を果たすために努力したいと思う。

い。何だか主張がみに編集後記となってしまいました。ところでみなさんにお知らせがあります。前号までは、おなじみの版本印刷で、お世話してもらっていましたが、経済状態もきびしくなってきたので、高塔印刷で、今回から、高塔印刷で、やってみようことになりました。少し、以前よりも読み合いが変わって、おなじみですが、今まで通り礪陵新聞を、御いさきの事よろしくお願ひ致します。

新刊・参考書・雑誌のことなら

# 石松書店

若松区本町二丁目10-9 TEL.761-2415

教科書、参考書、新刊書籍、雑誌

# 文ちゃん書店(本店)へ

若松区本町2丁目9-13 TEL.761-3917

写真なら

# 銀影

口一タリ一横

TEL.761-4786